

令和5年6月

危機管理マニュアル（ Jアラート対応 ）

宜野座村教育委員会

共通確認事項	【弾道ミサイルについて確認】 ○弾道ミサイルは発射から極めて短時間（15分以内：沖縄県）に着弾する。 ○ミサイル着弾時には暴風や破片などによる被害が想定される。 【 J アラートが発信された場合】 ①屋外にいる場合 ⇒ できる限り頑丈な建物や地下に避難する。 ②建物がない場合 ⇒ 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。 ③屋内にいる場合 ⇒ 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。 【ミサイルが近くに落下した場合】 ○屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋 内または風上へ避難する。 ○屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。 【正確かつ迅速な情報収集】 ○ Jアラートの続報、テレビ、ラジオ、インターネット等から情報収集する。 ○行政からの指示があれば、それにしたがって、落ち着いて行動する。			
	J アラートの内容			
		<u>ミサイル発射</u>	通過又は領土、 <u>領海外</u> に落下	<u>領土、領海内</u> に落下
	登校前	<u>・ 自宅待機</u> ・ 共通確認事項①②③に基づき行動。	<u>・ 安全が確認できたら 通常どおり登校する。</u>	<u>・ 原則臨時休校とする。</u> ・ 行政（村防災計画等）の指示に従って行動。
登下校中	・ 共通確認事項①②③が基本 ・ 自宅が近い場合は、自宅にもどり待機。 ・ 自宅に誰もいない場合や学校が近い場合は登校。 ・ 緊急の場合は、110番の家、近くの家理由を説明し、避難する。	・ 安全が確認できたら登校を再開する。	・ 行政（村防災計画等）の 指示に従って行動する。 ・ 指示がない場合は、自宅又は学校のいずれか近い方に避難する。	
在校時	【屋外にいる場合】 ・ 速やかに教室等の屋内に避難する。 【屋内にいる場合】 ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない空間（廊下等）に避難する。	・ 安全が確認できたら教育活動を再開する。	・ 原則として学校の安全な場所で保護する。 ・ 情報収集に努める。 ・ 安否情報を保護者に伝える。 ・ 行政（村防災計画等）から避難指示が継続している間は原則、保護者への引き渡しは行わない。	
事後	・ 関係機関等から情報収集に努める。 ・ 被害が生じた場合は、被害状況の把握につとめる。（村教育委員会へ被害状況を報告）			

